

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 29 年度

事業所番号	2795600010		
法人名	有限会社 ディスカバリー		
事業所名	グループホーム虹Ⅱ(旧グループホームホリ)		
所在地	大阪府泉南府中小路2丁目1860番地の1		
自己評価作成日	平成 30年 2月 15日	評価結果市町村受理日	平成 30年 3月 27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kajokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyoVoCd=2795600010-00&PrefCd=27&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 30年 3月 5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりの生活に応じて、職員が対応の仕方をかえてより良い雰囲気や、楽しく過ごせる日々を叶えられる様に支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

病院、介護老人保健施設に併設された3ユニットのホームです。開設15年を経て、新たにホームの名称も「虹Ⅱ」に変わりました。これまでの実績を積み重ねたうえで、より良いケアを目指して職員一同取り組んでいます。職員間のチームワークが良く、利用者にとって良いと思うことは、まず実践し、楽しく安心して暮らせるよう、話し合いを重ねながら、一人ひとりの声を大切にケアが行われています。健康を意識した食へのこだわり、認知症の症状に応じた専門的なケア、行動制限のない自由な暮らし、居室の鍵の自己管理、家族と利用者が共に楽しむ機会として、家族会や運動会など、様々な工夫をしています。また、腹話術、人形劇、大正琴、花見などの恒例行事が定着し、家族も尺八、バイオリン演奏などボランティアとして参加するなど、利用者の楽しみにつながっています。併設の病院があることから、看取りには積極的に取り組んでいませんが、できるだけ最後までホーム内でその人らしい生活が送れるように支援しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念である「家庭的な雰囲気作り」何でも言える気を使わなくて済む雰囲気作りには時間がかかりますがスタッフ一同共有しケアにおいて実践に努めています。	ホームの理念は「個人の尊重」「地域のみなさまと認知症進行の予防」「家庭的な雰囲気作り」を掲げています。職員は、理念をもとに、「まず、やってみよう」と、一人ひとりの利用者が快適に過ごせるようにより良い状態を目指して、丁寧に個別ケアを実践しています。利用者に対して、人生の先輩として、多くの知恵をもっていると尊敬の念を持ち、日々ケアにあたっています。家庭的な雰囲気の中、職員も利用者から癒されていると感じながら、穏やかな共生の時間が流れています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	頻繁な地域交流はないですが、地元のボランティア、民生員さんの来所は、定期的に行っています。	開設15年の中で、大正琴や歌、人形劇、尺八、紙芝居、腹話術など、様々なボランティアの訪問があり、馴染みの関係ができてきました。また、利用者のひ孫が、学校の催しをホーム内に掲示するなど、利用者や職員の家族との繋がりの中で、地域との繋がりがさらに広がってきました。今後は、以前に来訪のあった、保育園児や小学生との交流なども深めていく予定です。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	キャラバンメイト・泉南市独自のライフサポートコーディネーターとして、地域での活動をおこなっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各月の会議時に報告、介護の実際をお伝えし、又他施設での活動等、教えて頂き、実行させて頂く事があります	運営推進会議要項を作成し2か月に1回会議を開催しています。会議には市職員、地域包括支援センター職員、民生委員が参加して地域の情報やホーム運営について意見交換をしています。会議への家族の参加を呼びかけていますが、平日の会議開催など家族の参加が難しい状況です。議事録はホームで閲覧できるようになっていますが、今後は議事録を家族へ送付し、次回開催の案内と参加の呼びかけを継続して取り組むことにしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	わからない事があれば、その都度連絡をし、教えて頂きます。	市町村との関係は良好で、何かあればすぐに連絡を取り合う関係ができています。市主催の地域密着型施設交流会や認知症ケア研究会などにも積極的に参加し、市の研修を受けてライフサポートコーディネーターの配置も行っています。ホームの空床情報も定期的に市へ伝えています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修はあるものの、完全なる周知には至っていない事もあります。玄関の施錠については、徘徊のある方が入居されている事から、人の少ない時間帯には閉まっています。これ以外では身体拘束等はおこなっておりません。</p>	<p>法人で身体拘束廃止委員会を設置しています。年間計画に沿って毎年1回は担当として研修を行っています。ホーム1階玄関は施錠していますが、利用者はホーム内エレベーターを利用して自由にホーム内を行き来することができます。玄関前にはチャイムを設置して利用者が玄関に近づけば、職員がさりげなく付き添って外へ出る支援をしています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全員が外部研修等で学ぶ機会は少ないものの、事業所内での虐待がなれ合いや見過ごされない様、スタッフ同士話し合い検討し、防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居された時点で成年後見制度を利用されていることもあり、その方たちと話す機会がありますが、学ぶ機会(研修等)は少なく全員の周知には至っておりません。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>面談、文書等でお伝えし、尚かつ、不明な点は再度話しあいする様になっています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>施設内に意見箱や相談窓口を掲示しています。</p>	<p>家族とホームの交流を目的に4月にはパワーポイントを使用し、利用者の1年間の様子を伝え、9月には運動会を行っています。運動会への参加数は年々少なくなっていますが、パン食い競走やくじ引きなど、家族と利用者が共に楽しむ機会として取り組んでいます。面会時は職員の方から積極的に声をかけ要望や意見を聞き取るようにしています。家族は気づいた事、要望などがあれば管理者にメールなどで伝えたりもしています。家族からは「私たちのできることは何かありますか」との声も寄せられており、毎月1回の尺八演奏やクリスマスのバイオリン演奏など、家族がボランティアとして参加しています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	会議や日頃の申し送りの時間を利用し意見交換しています。	毎月1回全職員が集まり、ヘルパー会議を開催しています。会議では行事内容の確認、利用者の状況の確認などを中心に行い、職員は業務上気づいたことなどの意見交換を行っています。管理者と職員は日常にお互いに気づいたことなどを言い合える関係ができており、良好なチームワークが職員の定着率を高めています。	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	向上心を持てるよう、管理者より職員個々の実績等について報告すると共に勤務表での勤務状況・労働時間の把握。 給与水準の検討を行っています。		
13		<p>○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	泉南市独自のライフサポート研修参加、又泉南市の認知症ケア研究会の研修会に参加しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着交流会や、泉南市の研修に参加する事で他の事業所との交流・意見交換しサービスの向上に取り組んでいます。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時、本人様と話しあい、安心して頂ける様に努めます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や入居前には困っている事などを、家族様に聞き取りをさせて頂きま		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前までの趣味や育ってきた環境等お伺いしサービスの方向性について検討します。他科受診の必要な際には、家族同行出来ない場合は、こちらでの対応をさせて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にテレビを見、物づくりし、一緒に食事をする時間を設けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その時々の様子をお伝えし、一緒に考えるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会があります。 昔からの知人の来訪に喜ばれています。	職員は、今までの関係が継続できるよう、家族や友人との繋がりを大切に考えています。近隣のスーパーへの買い物や喫茶店でお茶やケーキを食して楽しい時間を過ごします。家族の支援を受けながら墓参りや初孫の節句に出かけるなどの支援もしています。携帯電話やインターネットを使用して、これまでの関係を継続している人もいます。遠方からの入居者もあり、新しく入居した人が、ホームに馴染み、馴染みの関係や場所となるように新たな関係づくりへの支援も意識して行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	催しの際には1階に皆さん集まれ、別のユニットの方同士お話しされる等、楽しく過ごされています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も家族様が訪問して下さりご本人の近況状況を伝えて下さったり、作った花・野菜等を持ってきてくださる等の交流があります。また、相談事もして下さったりもあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望や意向を把握し困難な場合は本人にとってどれが良い方法かという視点で検討しています。	入居前のこれまでの自宅での過ごし方や趣味、関心ごと、習慣、好きなこと、こだわりなど、一人ひとりの思いや希望を家族や本人に聴取し、「本人の事を教えてくださいシート(仮称)」に記録して、ファイルにまとめています。また、入居後も日常の会話や言動、表情の中から、利用者の思いを把握し、日々のケアに活かしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・家族様と話し合い、情報を頂く事で、把握する様努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録・申し送り等で伝え、現状の把握につとめています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・家族様の意見も聞かせて頂き、職員同士で話し合い現状に即した介護計画を作成できるようつとめています。	介護計画の見直しは、6か月に1回行っています。一人ひとりの様子を介護計画書にまとめ、生活習慣や好きなこと、趣味などの情報を得て、次の計画に活かしています。サービス担当者会議は、担当の職員が利用者の様子を伝えて家族の要望を聞き、医師の意見も書面でまとめたうえで開催し、介護計画に反映させています。計画は、日々の申し送りや毎月の会議で報告し、一人ひとりの利用者の様子を情報交換し、モニタリング用紙にまとめています。	入居前の情報や入居後も利用者の希望や様子、思いを把握していますが、次のステップとして、それらの情報を共有できるようシートの工夫や日々の記録用紙の検討をされてははいかがでしょうか。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録用紙に個別ケア欄を設け記入し、申し送り時に、各階の情報を共有し、実践や介護計画の見直しにいかしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人の状況を把握し職員同士で意見交換行い対応しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ご自身で出来る事はして頂き、出来ない所は、声かけ・軽介助等で出来る自信につながる様心掛けています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>必要に応じ受診の介助をおこなっています。</p> <p>また、かかりつけ医と密に情報共有する事で、より良い支援を築いていけるようつとめています。</p>	<p>隣接の同法人の病院より、月2回のかかりつけ医の訪問診療があります。また、週1回の訪問看護による健康チェックが行われています。重度化や急変時の対応の為、隣接の病院受診を勧めていますが、利用者や家族の希望に応じて、従来のかかりつけ医への受診は可能です。併設施設に看護師、医師がおり、何かあれば相談できる体制が整っています。医師や看護師とも常に連携を図りながら、急変時など24時間、夜間、緊急時の体制も整えています。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護が毎週あり、利用者様の変化や体調等伝え一人ずつ観察して下さっています。 必要に応じて受診指示や今後の対応の助言を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	体調不良時には受診し、必要時には入院治療しています。 入院時の情報は適時交換し退院時期の相談等も話し合います。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	新入居時に、ターミナルケア等についての希望を聞かせて頂きます。 老健・介護療養・病院が併設されている事からも、ご本人にとって今必要な介護・医療をご家族様と考えます。	病院や介護老人保健施設が併設しており、入居時に重度化や終末期に向けて、ホームでできることを説明し、併設施設と連携を図りながら、対応しています。ホームで、看取ったことはありませんが、現時点では、積極的な看取り支援はしていません。今後、利用者や家族の意向を把握しながら、併設施設とも検討をして、重度化対応や看取りの指針等も検討する予定です。状態の変化による救急搬送時の心肺蘇生の有無については、家族の意思確認を書面で行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>隣接の病院への受診、また、ナースにより適切な対応の仕方の支持を頂いたりしています。 消防士による、応急手当などの指導を避難訓練時にして頂きます。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>隣接される施設との合同非難訓練を定期的に昼・夜想定にて実施しています。 出来る限り、ご利用者さまにも参加して頂きます。</p>	<p>防災・地震・風水害時の対応マニュアルはあります。年に2回、消防署の指導を受けて隣接する病院や介護老人保健施設と合同の防災避難訓練を実施していますが、ホーム独自の訓練はできていない状況です。非常口はいつでも開けられるようになっています。災害時の備蓄は、ホーム内で米を準備しています。水は、地下水の貯水タンクの水を活用することにしてあります。非常時には、法人施設内の自動販売機の商品が活用できるように販売会社と提携していますが、備蓄については、法人施設に任せている状況があります。</p>	<p>災害はいつ起こるか予測がつかないため、いざという時に慌てずに避難誘導ができるように、職員と利用者が一緒にホーム内で、年に1回は自主避難訓練を実施することが望まれます。また、法人内での備蓄はありますが、すぐに活用できない状況なので、利用者と職員の食料等をホーム内でも備蓄することが望まれます。</p>

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に認知症の症状が違う事から、一人ひとりの人格にあわせた言葉かけや・対応を変えています。	職員は、「認知症の人の人権」について研修を受けています。利用者への言葉かけや対応は誇りやプライバシーを損ねないように、明るく丁寧でやさしい雰囲気です。認知症の進行により、結婚後の姓が理解できない利用者には旧姓で呼ぶ等、利用者に合わせて対応をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思疎通がうまくできない方には希望や意思決定が出来る様普段からご本人の特徴をみて対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールありますが、ご本人の希望・気分により、適時の対応に努めています。 例)朝食の時間・入浴回数など		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	男性の髭剃り支援(剃り残し介助) 月一回の理美容時には、ご本人の希望の長さ・家族様からの意見。 入浴時の衣類などは、なるべくご本人様と一緒にするようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>普段は介護食品を導入していますが月2回をご利用者様の希望の食材を入れる手作り日にしています。手作りの際には、会話を楽しみながら作っています。</p>	<p>食事は、副食が業者から届き、ご飯は地元の農家からのお米をホームで炊いて食べています。魚は骨まで食べられるようになっており、咀嚼が弱い利用者でもカルシウムを摂取できるようにしています。朝食でパン嫌いな利用者には、おにぎりを提供するなど、工夫もしています。月2回(日曜日)は利用者の希望を聞いて、食べたいものを一緒に作り、職員も一緒に食べています。手作りおやつの日には、ケーキやおはぎ、蒸しパン等を利用者と一緒に作っています。隣の介護老人保健施設で行われるイベントでお寿司やおでんを食べに行く時もあります。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量の記録を行い水分は食事以外に起床時・入浴時・体操後・おやつ時・就寝前に補水を行っています。飲みづらい方には、ゼリー等にて代用し補水に努めています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアが困難な方には、清潔に保てるよう介助しています。 歯磨き粉の使用が出来ない方には、水みがきにて行っています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを理解し、時間毎の誘導や排泄前の表情等を察知した誘導をすることで少しずつ無理の無い自立した排泄へと促します。又、立位が困難な方には、スタッフが2人ついでの誘導での対応をしています。	各居室にトイレがあり、利用者は日常的に自室で排泄をしています。車椅子の利用者も自室で排泄できるようにトイレのドアを外す等工夫をしています。排泄パターンや習慣を把握し、声かけやトイレ誘導をしています。入居前はオムツを使用していましたが、リハビリパンツ使用になり、その後、自分でトイレに行けるようになった利用者もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む食材の提供、牛乳・水分補給にて便秘予防に取り組んでいます。また、泉南市独自のWAO体操や施設内での歩行訓練等を行い予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回の入浴を行っている。入浴を嫌がる方には、時間をずらして入浴して頂いたりタイミングをはかっています。排便等にて不潔にならないよう、シャワー浴をさせていただく事もあります。	利用者は週3回の入浴をしています。入浴を好まない利用者には、職員が声かけやタイミングを工夫して、本人が気持ちよく入浴できるようにしています。季節感を味わうために柚子湯をしたり、好みのシャンプーを用意する等、入浴を楽しめるように配慮しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>各居室内にトイレがあり、テレビ・パソコン・ラジオを持ち込みされている方もありご自身の部屋でゆっくり過ごして頂きます。 又、車いす生活をされている方には、適時(食後など)臥床介助を行っています。 昼夜逆転を防ぎ体内時計を安定させる為にも、レク(将棋・トランプ・塗り絵・パズル)、ボランティア様、WAO体操(泉南独自)を行っています。</p>		
47		<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬情を職員が見れる所に保管し薬が変更になった場合は様子観察おこない、主治医(内科・精神科)と随時連携を取っています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>同じ趣味の人同士、他ユニットへ訪問する事もたびたびあり。(将棋・囲碁・カラオケ) お一人で出来ない時には、スタッフが付きお手伝いをさせていただきます。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々に希望の外出先(買物等)にでかける事はあります。 又、家族様のご都合により年末年始に外出外泊が出来ない方に初詣の支援をしています。 ケーキセットを食べに地元の喫茶店に行く事もあります。	お祭り、花見、初詣、近隣の喫茶へ出かけるなど、行事を企画し外出しています。また、併設の病院や週2回のリハビリに、定期的に受診している人もいます。日課として毎朝散歩に出かけることはできていませんが、外出がホームの課題だと捉えており、今後、できるだけ力を入れて取り組みたいと考えています。ホーム前の駐車場も広く、気候の良い時期には、テーブルを広げ、外気浴をしながらお茶を楽しんでいます。	今後、日課として近隣への散歩や買い物など、少人数で少しの時間でも外出の機会を増やされてはいかがでしょうか。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理ができる方は家人了解のもと行い、預かりを希望されますとこちらでの管理とさせて頂いております。が、預かりさせて頂く方が増えています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	こちらから手紙を出される方はほとんどいませんが、届く事はあります。 電話も同じで、かかってくる事が多いです。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共有空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>囲碁・将棋・パズル・カラオケ・トランプなどそれぞれに楽しんで頂くために、テーブルセッティングをその都度おこなっています。</p> <p>ホールには、皆さんの作品を展示し、季節感を取り入れる様にしています。</p>	<p>1階から3階の各ユニットのリビング兼食堂は明るく、廊下も広く、清潔でゆったりとした空間となっています。リビング兼食堂に置かれた、同色の長いすやテーブルは、やや単調な色調で、家庭的な雰囲気とは少しかけ離れていますが、職員の壁面の装飾の工夫により、彩りを感じることができます。壁面に飾られた干支の絵馬、習字、ひな祭りなどの作品から、季節を感じることができます。また、写真が趣味の利用者が撮った季節ごとの写真を廊下の壁面に飾り、皆で楽しんでいます。今後もユニットごとの特色を活かしながら、利用者と共に居心地よい家庭的な環境づくりに取り組む予定です。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにてご自身の好きな椅子に座られ、お一人の空間で過ごされたり、利用者同士での会話を楽しまれたりされています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅で使用されていた椅子・テーブル等を持ち込まれたり、パソコン・携帯電話でメールをされているご利用者さまもいらっしゃいます。</p>	<p>居室にはトイレ、洗面台、ベッド、収納タンスが備え付けてあります。開設15年が経過したホームは、設備面では汚れが目立つところもあり、職員は様々な工夫をしています。居室、リビングとも明るく、掃除が行き届いており、臭気もなく、清潔が保たれています。部屋には、使い慣れたタンス、テレビ、時計、カレンダー、家族の写真、植物など自由に飾っています。パソコンや携帯電話を持参している人もいます。居室内のトイレのドアは、利用者家族と相談して、状態に応じて外しています。それにより、トイレで自立して排泄できるようになった利用者もいます。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレの場所が分からない人には、場所が分かる様トイレのドアをはずしたり、居室の前に表札や目印を置いて、自立した生活が出来る様にしています。中には、旧姓 を貼らせて頂いてる方もいます。</p>		